

令和7年度日中サービス支援型指定共同生活援助評価シート

評価日：令和7年 8月 21日

評価事業所名：ソーシャルインクルーホーム古河中田

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会記入欄】 ※グレー枠はプルダウンで選択 要望・助言・その他を選んだ場合は内容を記載
1. 地域に開かれた運営	①利用者に対する指定計画相談支援に提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等 20名中、 20名 古河市：12名 筑西市：1名 久喜市：2名 幸手市：2名 加須市：1名 戸田市：1名 茨城町1名	■特になし
	②実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 0名・ボランティア 0名 (受入事例) 受け入れ実績なし	■要望・助言 ・積極的に受入れを進めてほしい。 ・日々、利用者のみなさんの対応で大変と思いますが、ボランティアの受入れなどを検討し、地域とのつながりができると良いと思います。 ・実習生やボランティアの受け入れについて、計画的に行う必要があると思っています。まずはその計画と受け入れによるメリットも考えるべきかと思っています。よって、時間がかかることです。
	③地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) ・古河桃祭り（利用者様に参加希望を確認しての参加） ・ひなた祭り・あじさい祭などは、（利用されている利用者様・家族の参加）	■要望・助言 ・年度後半に向けて、昨年度同様、地域のお祭りなどの参加を計画して頂きたいと思います。 ・各行事や交流機会に対して、どれくらいの参加希望があったのか知りたいので、実際に参加した利用者人数の記載をお願いします。 ・今後も引き続き地域との交流や参加の機会が増えるようお願いしたい。地域連携推進会議の実施について検討を進めてもらいたい。
2. 常時の支援体制の確保	①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) ・1階・2階とも24時間切れ目なく職員を配置している。 ・平日・土日関係なく1階・2階日勤2名～3名以上：1階・2階夜勤2名ずつ配置している。	■特になし
	②災害時における、利用者への安全対策（マニュアル作成等）を講じているか。	(安全対策（マニュアル）や避難訓練の実施等の事例) ・消防計画（火災） ・非常災害対策計画（地震） ・避難確保計画（水害） ・各計画に基づいて、避難訓練を行っている。 ・災害備蓄品を備えている。 ・BCPを策定し研修・訓練を行っている。	■要望・助言 ・強度行動障害の利用者が多い施設ですので、普段から利用者も参加しての避難訓練を実施頂いていると実際の避難がスムーズになると思います。 ・防災に関する内容は年々変化しているので、引き続き対応の変更と継続が必要と感じます。 ・褥瘡への対応は外部の看護師で対応いただいている。今後は看護師の配置を進めてほしい。
	③体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法（急な体調変化等）) ・わたらせ在宅診療所と24時間支援体制が確保されていて、利用者様の急変時に対し、迅速に看護師の訪問後、医師の訪問を行って頂いている。 ・電話にて、利用者様の現状をお伝えし、救急搬送の判断等の助言・指導も対応して頂いている。	■特になし
	④利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応	(心身状況等を考慮した食事提供) ・食材発注業者が示す調理方法に基づいて、食事時間	■特になし

	じた食事提供・支援しているか。	ごとにホームで調理し、出来立てをその場で提供している。 ・食事形態は利用者それぞれの咀嚼・嚥下機能に合わせて、お粥にしたり、あら刻み・一口大にしたりしている。 ・誕生日には、お楽しみメニューを活用させて頂き大人様プレートを召し上がって頂いたりしている。 (献立作成法) ・食材発注業者の栄養士によって、適切な栄養価に基づいて計算されている。	
3. 短期入所の併設	①地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 1 名	■特になし
	②緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	(通常受入人数) 1 名 (緊急受入事例) 古河市地域生活支援拠点等事業【コガサボ】登録シート記入ありの利用者様（事業所より問い合わせにて受入） ・お父様が骨折にて入院され、お母様が視覚障害	・実績と延べ人数を教示いただきたい。
4. 支援の実施・質の確保	①充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) ・古河桃まつり ・2か月毎に近隣の床屋に職員同行にて外出する ・近隣の神社まで散歩に行く。 ・買い物支援 ・通院同行 ・誕生日会 ・ホーム全体のイベント（季節の行事） *雛祭り（3月2日のおやつ時間にひなあられを食べる。） *こどもの日（5月5日のおやつ時間に柏餅を食べる。） *夏祭り（7月13日昼食職員が作る。焼きそば・唐揚げ・フランクフルト・かき氷（利用者様が作る） *利用者様それぞれに合わせたレクリエーション（点つなぎ・塗り絵・パズル・ドリル等）	■特になし
	②支援の質の確保に努めているか。（研修等）	(参加した研修名等) 強度行動障害支援者養成研修（1）名 (自組織で開催した研修) 時期：2025年2月 内容：誤薬防止/誤薬に伴うリスク/感染症対策委員会（基礎） 参加者 19名 時期：2025年3月 内容：避難訓練（火災・日中想定） 参加者 20名 時期：2025年4月 内容：障がい特性/コミュニケーション 参加者 18名 時期：2025年5月 内容：感染症・食中毒 感染症対策委員会/【訓練】感染症（食中毒） 参加者 21名 時期：2025年6月 内容：緊急対応/災害訓練（BCP・水害・地震） 参加者 21名 時期：2025年7月 内容：虐待防止・身体拘束等適正化/虐待防止委員会・身体拘束等適正化委員会 参加者（実施中）	■要望・助言
	③一定の研修を終了した者を配置しているか。	・強度行動障害支援者養成研修【基礎】 3名・【実践】 3名	■特になし
・様々な分野に関する研修を計画的に実施し、職員のほとんどが受講しているのは評価できると思います。 ・不適切な対応が確認されるとすぐに虐待防止・身体拘束等適正化委員会が開催されるのは良いと思います。 ・コンプライアンス全体に係る研修についてはいかがでしょうか。			

		・行動援護従事者養成研修 名 ・各療吸引等研 【第一号】 名【第二号】 名【第三号】 名 ・重度訪問看護従事者養成研修行動障害支援課程 名	
	④体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 0名 (体験利用の事例) ＊本入居の居室で体験する為にホームが満床で受け入れが出来ない。開所時は体験の受け入れがあった。 (体験利用料金) 0円/6泊7日	■特になし
	⑤改善や見直しに取り組んでいるか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと) ＊スタッフの確保 (利用者・家族からの意見・希望) ＊サービスに対する不満や心配事がないよう、利用者・家族の意見を親身になって受け止め、寄り添う姿勢を見せられるよう取り組んでいる。 (苦情受付体制について) ＊【各事業所】【本社】 (家族等への連絡機会・頻度) ＊利用者様の状態・ニーズの情報の共有・随時	■特になし
5. 利用者の権利擁護等への配慮について	①利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) ・ご利用者様と預かり金等管理委託契約書を締結している。 ・月ごとに金銭出納管理をしている。 ・毎月15日・月末金銭出納管理帳を本社に提出している。 (成年後見制度の支援及び利用者数) ・利用支援事例等 ・ご利用されている利用者様はいない。	■特になし ・SIHの中田および仁連において、基本的な管理方法を法人として同一内容を求める。また、仁連において、印鑑と通帳を利用者の依頼に基づき実施しているようであるが、利用者の認知能力等から「成年後見制度」の概念と権利擁護から乖離がないかを再度ご確認ください。
	②利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取り組み) ・利用者の尊厳を尊重し、個々のニーズや状況に合わせた支援を提供する。 (傾聴) 利用者の話をよく聞き、共感的な態度で接することで、安心感と信頼関係を築きます。 (個別対応) 利用している一人ひとりの状況や好みを把握し、個別に対応することで、より質の高い支援を提供できる。 (自己選択・自己決定の尊重) 可能な限り。利用者の意思を尊重し、自己選択や自己決定を促すことで、自立支援につなげます。 (生活リズムの調整) 可能な範囲で、利用者の生活リズムに合わせ支援を提供することで、生活の質を向上させます。 (役割の付与) 可能な範囲で、利用者役割を担ってもらうことで、生活への意欲を高め、自尊心を向上させます。 (適切なコミュニケーション) 専門用語を避け、分かりやすい言葉で、丁寧に接することで、誤解や不安を解消します。 (環境設備) 利用者にとって快適な環境を整えることで、安心して過ごせるよう配慮します。 (多職種連携) 関係機関と連携し、情報共有するこちで、より効果的な支援を提供します。 (職員間のコミュニケーション) 職員同士が連携し、情報共有することで、利用者への支援の質を高めます。	■特になし ・今後も利用者の意思決定支援について丁寧に対応お願いしたい。
	③虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) ・虐待防止に関する外部研修を受講している。 ・人権や権利擁護・不適切な支援の具体例・虐待に関することなど	

		(虐待発生時の対応、発生後の対応等) ・虐待防止委員会にて、虐待防止責任者である管理者を中心に話し合いをし、何かあればすぐにご家族や関係機関と連携し、情報共有・報告・相談を行っている。 ・虐待防止委員会にて、セルフチェックリストを用いて振り返り、権利擁護や虐待防止に関する知識や認識が不十分ではなかったかを確認し、職員全員に周知をし虐待防止研修を行う。	・虐待防止委員会は今後も積極的に研修を実施し、防止に努めてほしい。
6. 入居/退去状況について	①報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 1 人 (報告・評価対象年度の退去者数の事由) ・退去者数 1 人 ・主な退去事由：ご自宅の側の施設を希望される。(筑西市)	■特になし
7. 他の日中活動サービスの利用	①GH内でどのような日中サービスを提供しているか。 ②他の日中活動サービスの利用を妨げているか。	(日中をGHで過ごす利用者に対する支援・サービスの提供) ・入浴・排泄・食事等の支援・介助 ・調理・洗濯・掃除等の家事 ・日常生活・社会生活上の相談及び助言 ・就労先やその他の関係機関との連絡 ・その他の日常生活上の援助 (他の日中活動の利用状況) ・他の日中活動サービスを利用 20名中、17名(主な他の日中活動サービス種類・利用先) ・生活介護「ありがとこの花」・「陽」 ・就労継続支援B型「リハスワーク」・「サフラン工房」・「めぐ就労継続支援B型五霞：加須」 ・地域活動支援センター「みどりの家」	■特になし
8. 利用者の健康管理	①日々の利用者の健康管理をしっかりと行っているか。	(医師や看護婦の訪問有無及び頻度) ・訪問診療 月2回(業務委託を結んでいる。) ・看護師の訪問については、医療行為(褥瘡)のある利用者様に対しては、毎日 ・訪問歯科 利用者様の処置の状況によって、月1～2回 (健康チェック方法について) ・毎朝 バイタルチェックをしている。 (緊急時連絡体制の確保) ・24時間365日オンコール体制(わたらせ在宅診療所)	■要望・助言 ・委員会で指摘されていた入所者の定期的な胸部レントゲン撮影は、結核予防法に定められている事項と思われますので、確実に実施されているか確認が必要と思われました。
9. 他事業所との連携	①相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	(具体的な連携状況の事例について) ・相談支援事業所とは緊急時は勿論、常に施設の状況の連絡を取り合っていて、利用相談や個別支援状況の共有を行っている。 ・毎月弊社の取組として、関係機関と良好な信頼関係を構築出来るよう入居されている利用者様のご様子をお伝えしています。 (電話・メール・面談) ・通所先の方々とも日々日数を重ねるごとに利用者様の様子などが詳細に連絡取り合える関係性が構築されており、問題や何か気になって点などの相談を行っています。	■特になし
10. その他	[独自に「定める項目を記載」]		■特になし ・今後も光熱水費、食材料費、日用品費については、定期的に適切な管理において清算をお願いします。また、食材料費については、毎月赤字との説明がありました。不足分の対応についてもう少し詳細をご教示いただけたらと思います。
11. (2回目以降)協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	(要望・助言の内容及びその対応)	■特になし